

「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成30年6月27日

仕事の内容	臨時福祉給付金事業				
担当部署・課長名	福祉推進	課	指導調整	係	課長名 嶋田 淳

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 社会保障の充実

(総合計画書 63 ページ)

予算名	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費	事業	22	臨時福祉給付金事業	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。						① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	低所得者						→ 基準日(平成28年1月1日)時点で東大和市に住民登録があり平成28年度の市民税(均等割)非課税者					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]						② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	臨時的・暫定的な措置として給付金を支給する。						→ 支給決定数/対象者数					
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。						③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	①市報・ホームページ等での周知 ②対象と思われる方への勧奨 ③未申請者への再勧奨 ④申請受付、支給事務						→ ①市報掲載数 ②対象と思われる方への勧奨件数 ③再勧奨の回数・件数 ④申請受付件数・給付金支給件数					

		単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度目標	平成31年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	15,200	14,970	14,557	
	成果指標	②の数値	%	81.3	80.6	86.7	
	目標	②の目標値	%	100	100	100	
		目標値設定の考え方	全ての対象者に給付金を支給する。				
活動指標	③の数値		①6回②15,200件③1回、8,567件④12,357件・12,256件	①4回②14,970件③1回、4,853件④12,067件・11,848件	①6回②14,640件③2回、2,766件・2,188件④12,623件・12,543件		

3 経費		事業費(実績)	円	103,797,423	49,102,143	217,007,928
財源	一般財源	円	423	143	928	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,253,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成28年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	特定財源	円	103,797,000	49,102,000	217,007,000	
	(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	所要人数(再任用以外)	人	2.0	2.0	2.0	
	所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
人件費(目安)	職員人件費(再任用以外)	円	16,466,000	16,466,000	16,506,000	
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0	
事業費+人件費		円	120,263,423	65,568,143	233,513,928	

この仕事における市の裁量 市の裁量は小さい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	平成26年度開始。平成26年4月からの消費税率の引上げに伴い、低所得者に与える負担の影響に鑑み、臨時的・暫定的な措置として全国的に実施。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	当初、平成26年度限りの事業として実施したが、消費税率の増加(8%→10%)が見送られたことから、平成27年度以降においても臨時福祉給付金が継続されることとなった。事業は平成29年度限りで終了となった。

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成29年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	<ul style="list-style-type: none"> 市民から、制度の認知度の低さもあり、制度そのものの問い合わせが寄せられた。 議会から、支給実績に基づき、すべての対象者に申請できていないことから、啓発活動内容について質問が寄せられた。(決算特別委員会)
----------	--	--

仕 事 の 内 容	臨時福祉給付金事業			
担当部署・課長名	福祉推進	課	指導調整	係 課長名 嶋田 淳

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)			
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体:) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
(2)平成30年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。				
7 課 題	(1)平成28年度の課題についての解決に向けた取組や、事務改善など、平成29年度に実施したことをご記入ください。			
	勸奨の回数を増やしたり、申請したが添付書類の不備による保留者に電話連絡をした結果、申請率が上がった。			
	(2)この仕事を振り返り、課題をご記入ください。			
特になし。				
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性(「7 課題(2)」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	平成29年度限りで事業終了となったため、なし。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的にご記入ください。			
(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成 果	ドロップダウンリストから選択してください。		経 費	ドロップダウンリストから選択してください。